

継2 ～文化施設の管理運営及びその施設を拠点とした熊本らしいまちづくりの推進
並びに文化芸術を振興する事業～

4. 文化施設管理運営、まちづくり推進事業

(22) 会館管理運営事業

《ホール、会議室の稼働率向上》

年度当初は熊本地震の影響で避難所運営を行うなどの休館を余儀なくされ利用率、稼働率ともに減少しましたが、他館より早期の再開を果たせたため夏ごろより利用が増え始め、結果的には例年並みの利用に回復しました。

本年度、稼働率が前年の55.8%に対し60.4%（4.6%増）、利用率は前年の82.3%から84.8%（2.5%増）と増加しました。

（開館時間）

ホール、会議室	9:00～22:00
国際交流サポートセンター	9:00～20:00
駐車場・駐輪場	8:30～20:00

（休館日）

第2、4月曜日（※祝日と重なる場合は翌日火曜日）、12月29日～1月3日

〈熊本地震による休館〉

ホールの休館 平成28年4月15日～7月7日まで（84日間）

会議室の休館 平成28年4月15日～5月5日まで（21日間）

※避難所の運営 平成28年4月15日～4月30日まで（16日間）

利用者数（ホール・会議室、サポートセンター） *単位（人）

平成28年度 利用者数の統計

月	開館日数	ホール・会議室	サポートセンター	合計（人）
4月	13	6,120	3,561	9,681
5月	24	5,829	3,916	9,745
6月	28	13,197	7,615	20,812
7月	29	15,820	8,911	24,731
8月	29	19,969	9,958	29,927
9月	28	17,372	9,009	26,381
10月	29	20,927	11,121	32,048
11月	28	16,888	9,594	26,482
12月	26	15,164	6,137	21,301
1月	26	17,278	7,363	24,641
2月	26	14,176	7,614	21,790
3月	29	18,294	7,668	25,962
計	315	181,034	92,467	273,501
前年（H27）	335	202,685	99,823	302,508
増減	▲ 20	▲ 21,651	▲ 7,356	▲ 29,007

利用者の減少は、熊本地震の影響でホール閉館中に伴うホール利用者数減が大きな要因となった。

(23) まちなか文化芸術振興事業

① 「第3回熊本アートフェスティバル」

熊本市中心市街地を音楽で活性化を図るとともに県内で活動するアーティストを発掘し活動の幅を広げることなどを目的に、アマチュアなどのチャレンジ部門、セミプロなどで活動する一般部門の2部門を設け、アーティストを広く募集し、審査員による審査会などを経て出場者を選出し、優れたアーティストには「大賞」、また観客からの投票で選出する「聴衆賞」などを授与し、今後の活動への一助としました。一般財団法人熊本市駐車場公社との共催。

◆本公演までの流れ

- 一般公募 平成28年4月1日～平成28年8月31日
- 応募総数 20組（チャレンジ部門10組、一般部門10組）
- 予備審査 平成28年9月9日（金） 3F国際会議場
 - ・チャレンジ部門 応募総数10組→出場5組選出
 - ・一般部門 応募総数10組→出場5組選出



●本公演（チャレンジ部門）

日 時：平成28年12月17日（土） 17:30～21:00
出演者：ブックベア／シックスセンス／松尾凌汰／熊本雅遊会／高山大知
表彰者：（大賞、聴衆賞＊ダブル受賞）高山 大知 氏
入場者：105人

●本公演（一般部門）

日 時：平成28年12月18日（日） 17:30～21:00
出演者：音の和music／DUO月光／トリオハーモニー／フリースタイル／後藤素子
表彰者：（大賞、聴衆賞＊ダブル受賞）後藤 素子 氏
入場者：120人

●審査員

小西 たくま氏（熊本市文化事業協会芸術監督）＊審査委員長
志城 慶香氏（作曲家・ピアニスト）
樋口 了一氏（シンガーソングライター）
松下 知代氏（箏演奏家）
黒葛原 潔氏（熊本交響楽団常任理事）＊体調不良で欠席

② 第3回熊本アートフェスティバル受賞者ガラコンサート

12月に開催した表記大会で受賞したアーティストや、同大会の過去の受賞者、また、これから活躍が期待される新進若手アーティストたちの活動の場として受賞者コンサート（有料：前売り500円、当日1,000円）を、国際交流会館ホールで開催しました。

●チャレンジ部門受賞者ガラコンサート

日 時：平成29年3月30日（木）
参加人数：112人
出演者：同部門大賞、聴衆賞受賞者 高山 大知氏（ハンドフルート奏者）
ORENGE（第1回聴衆賞受賞者）
ゲスト：Universal Flamenco Orchestra
新進若手アーティスト（藤岡春佳さん、桑原奈々子さん）

- 一般部門受賞者ガラコンサート
日 時：平成29年3月31日（金）
参加人数：135人
出演者：同部門大賞、聴衆賞受賞者 後藤素子氏（歌手）
同審査員特別賞 Free Style（邦楽）
ゲスト：フルートアンサンブル90
新進若手アーティスト
（川津俊弥さん、板橋亜胡さん）



(24) KIFレンタサイクル事業

熊本市民や本市を訪れる観光客等に対し、市内近隣の観光地めぐりに最適な自転車を公共交通機関に替わる交通手段として提供しました。なお当年度は熊本市の市場化テストの終了に伴い、実質的に熊本市内でレンタサイクルを行っている団体が当事業団のみとなったこと、更に地震の調査に訪れる県外の方々による利用が急増したことにより、昨年度の約10倍の利用増となりました。

- 貸出／返却場所：熊本市国際交流会館
- 貸出時間：9:00～21:30
- 利用料金：①普通自転車（300円／日）、②電動アシスト車（500円／日）
- 自転車数：13台（普通車6台、電動アシスト車7台）
- 利用人数：1,504人（①749人、②755人）※延べ数
- 収入金額：759,500円
（参考：平成27年度 80,500円）
- 利用人数（月別）

月	利用者数	月	利用者数
4月	30人	10月	147人
5月	85人	11月	125人
6月	92人	12月	139人
7月	112人	1月	104人
8月	198人	2月	128人
9月	156人	3月	188人

- 利用目的：観光1,017件／ビジネス343件／ボランティア60件／その他84件
- 利用者の出身地域
熊本市内（150件）、九州（178件）、中国・四国（82件）、近畿・北陸（209件）、中部・東海（85件）、関東・甲信越（461件）、東北・北海道（27件）、アジア・大洋州（55件）、北米・南米（19件）、欧州（33件）、中東・アフリカ（2件）
※利用者最多地域は東京254件

(25) 日本文化体験子ども教室

熊本県日本舞踊協会の指導のもと、子どもを対象に全15回シリーズ（月2回開催）の日本伝統文化を指導する教室を開講。また、通年で受講した生徒は集大成としてホールで発表会に出演しました。また、同会が毎年12月に市民会館で行っていた日本舞踊大会が地震の影響で会場の市民会館が使用できなかったため当館で子ども舞踊と合同開催を行いました。

《体験コース》

期 間：平成28年5月～平成29年3月（地震の影響で5月から開催）

回 数：15回（補講あり）

場 所：国際交流会館 5F大広間など

参加人数：8人

《発表会》

日 時：平成28年12月2日（金）

1部13:00～15:00 2部16:00～18:00

場 所：国際交流会館 6Fホール

参加人数：460人

協 力：熊本県日本舞踊協会

《おさらい会》

日 時：平成29年3月4日（土）14:00～

場 所：国際交流会館 5F大広間A、B

※お稽古の最終日をおさらい会とし、発表会に参加できなかった生徒の発表及び体験会を開催しました。



(26) フェアトレードステーション事業

フェアトレード商品の紹介・販売、啓発事業を通して、広くフェアトレード理念を市民に浸透させ、フェアトレードタウン熊本の認知度を向上させるとともに、フェアトレード商品を扱うリンクカフェを運営しました。本年度は熊本地震の影響により、国際交流会館が避難所となり、その間、運営ができませんでした。更に、商品の取引先も被災し、仕入れができない商品もありました。

リンクカフェ（link café） 運営時間：10:00～18:30

定休日：国際交流会館の休館日

《販促イベント》場所：国際交流会館1Fリンクカフェ、
5F厨房

●フェアトレード食材を使ったわらび餅

日 時：平成28年7月31日（日）10:30～11:30、
14:00～15:00

参加人数：15人

●リサイクルグラスアート作り

日 時：平成28年8月27日（土）10:30～12:00

参加人数：5人

●カルトナーージュで作る手づくりアルバム

日 時：平成28年8月28日（日）10:30～12:00、13:00～14:30

参加人数：12人

●フェアトレードバナナを使った手作りティラミス作り

日 時：平成28年8月31日（水）10:30～12:00

参加人数：7人



- フェアトレードチョコレート試食会
日 時：平成28年11月26日（土）10:30～12:00
参加人数：13人
- スノードーム作り
日 時：平成28年12月18日（日）10:30～12:00
参加人数：17人
- フェアトレードチョコレートを使ったムースとデコレーション
日 時：平成29年2月12日（日）10:30～12:00
参加人数：10人



《啓発事業》

- くまもと復興支援フェアトレード国際フェアへの参加（ブース出店）
期 間：平成28年7月29日（金）～31日（日）
場 所：サンロード新市街アーケード
参加人数：約2,000人
内 容：フェアトレード商品の紹介・販売
- 八代高校文化祭出店
期 間：平成28年9月11日（日）
場 所：熊本県立八代高校
- 商業高校合同販売会（協力）
日 時：平成28年11月19日（土）10:00～16:00
場 所：ビブレス広場

《マルシェの開催》

- 熊本城復興チャリティイベント
日 時：平成28年6月26日（日）
場 所：国際交流会館 1F 公開空地
内 容：フェアトレード商品の販売及び音楽演奏、復興応援メッセージの披露
協力団体：6団体
備 考：収益金より、10,199円を熊本城復興基金へ寄付しました。

(27) オープンセンター事業

国際交流会館をもっと気軽に来館していただくために桜町界限などの地域や、他団体と共同でイベントを開催し、幅広い世代の方々に当館をPRすることを目的とし実施しました。

① ものづくりフェア（8月）

熊本県ものづくり実行委員会（熊本県、熊本大学、熊本ものづくり塾などが構成する団体）の構成員として、熊本市国際交流会館ホールや会議室を活用した1日体験型のものづくりフェアを開催しました。

日 時：平成28年8月12日（金）12:00～16:00

場 所：国際交流会館 6F ホール、4F第1,第2、第3会議室、公開空地

参加人数：950人

② オクトーバーフェスト（ドイツのビール祭、10月）

「城下町大にぎわい市」の開催時期に合わせドイツの収穫祭をイメージした模擬店を出店しドイツの食文化（ビールやソーセージ）を紹介すると共に販売する催事を実施しました。今回は初日から雨天だったため水明かりも途中で中止になるなど客足が伸び悩みましたが、2日目は天候が回復したため、予想を超える集客があり夜間まで多くの人出でにぎわいました。

日 時：平成28年10月8日（土）、9日（日）

11:00～22:00

場 所：国際交流会館公開空地

共催団体：熊本日独協会

（同協会関連団体の出店5団体）

出店団体：ビアレストラン「オーデン」、ナチュラルJファーム、熊本クラフトビール、森本商店、ドイツパン「ベッカライ」

来場者数：約27,000人（※）

※大にぎわい市全体の集客84,000人、ふれあい広場54,000人（主催者発表）より算定。



(28) 調査・広報・事業推進事業

ホームページやfacebookを活用し、イベント広告、事業報告等チラシや多くの写真を同時にアップすることで分かりやすく情報配信を行いました。その他、メールマガジン（KIFニュース）等でも同様に会館情報やイベント情報、各種関係団体イベント等の情報提供を行いました。ホームページでは、市政だよりの情報を多言語で生活情報として配信し、きふブロ等のブログを活用し、事業に参加したインターンやボランティアの方々のコメントも掲載しました。各事業においてアンケートをとり、ニーズを把握し講座内容の充実に努めました。また、年次報告書を発行し、広く実施事業の報告を行ないました。更に、国際交流会館のイベント案内として「催し物案内」を毎月発行しました。

Facebook ページアクセス数1,714件

① ホームページ広報運営

・熊本市国際交流会館ホームページ

ホールの催事情報や、会館主催イベント、レンタサイクル情報を日本語、英語で提供。また、熊本市文化施設予約システムを活用した会館会議室のネットでの仮予約の受け付けや会議室の空き情報をタイムリーに公開することで正確な情報提供を行ないました。

・熊本市国際交流振興事業団ホームページ

事業団や国際交流・協力団体等が行う催事を新着情報で紹介するとともに、多言語相談や日本語教室などを随時紹介。今年は熊本地震発生時には自治体国際化協会の多言語ツールを活用し、地震の発生や落ち着いて行動するよう呼びかける内容でホームページへの掲載を、日本語、英語、中国語、韓国語で行いました。その後、毎日発行される熊本市災害支援情報を入手することで、情報提供として日本語に加え、英語、中国語、韓国語に翻訳し配信しました。また、事業団の沿革や定款、事業内容、事業報告書、財務諸表を公開すると共に、多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）で情報提供を行いました。開催した事業については、イベントレポートとしてホームページにアップ。ホームページにリンクしている事業団ブログ「きふブロ」にもインターンやボランティアさんによる感想や写真をアップし事業についての内容を楽しく伝え

ました。また、手軽に見ることができるツールとしてfacebookも活用し、事業情報や国際国流に関する情報をわかりやすくホームページと連携させ広報活動を実施しました。

URL:<http://www.kumamoto-if.or.jp>

② KIFニュース（メールマガジンの発信）

事業団や国際交流・協力団体などが行う催事を広く周知し参加してもらう事を目的に、毎週、イベントや生活などの情報を配信するとともに、関係団体によるイベント開催情報等も配信しました。また、編集後記としてスタッフによるその時々季節の出来事や体験談、開催したイベント等の感想を載せたりし、多くの方々への情報配信に努めました。

KIFニュース登録者数505人